(18) 医器学 Vol. 68, No. 4 (1998)

〔教育講演Ⅰ〕

ME機器の院内教育の現状

○白井敦史, 瓜生伸一 (北里大学東病院MEセンター部),
渡辺 敏 (北里大学医療衛生学部臨床工学)

ME機器の安全性, 信頼性を維持するための保守管理は重要な業務である。しかしどのように優れた機器でもその操作が適切でないと, その機能が十分に発揮されないばかりか, かえって患者に害を与えることになるため, ME機器に関する教育活動は保守管理業務と同様に重要な業務である。

北里大学東病院MEセンターでは, 1986年の開院以来, 各種の教育活動を行うことにより, ME機器が少しでも安全かつ適正に使用されるように努力してきた。その教育活動の一貫として, 院内で使用する頻度の高い機種を中心に「操作方法」や「トラブル対処」などについて, 看護職員を対象に講習会を毎年開催している。

講習会を効果的かつ効率的に行うために, 講義時間や開催時期, 講義内容などを検討し変更を行ってきた。1986年の開院当初には, それぞれの講義を1回ずつ年数回行っていたが, 1995年からレベル別に3段階のコースにわけて行った。また, 1997年からはコース分けに加え, 同じ内容の講義を数回行うようにした。今回これらの講習会の現状と問題点について報告するとともに, 1990年, 1995年, 1997年に行ったアンケートの結果についても報告する。